

幸田町立深溝小学校

## 伊藤 健太郎

「よっしゃー！終わったー！」

子どもたちの下校を見送った後、同僚の先生と顔を見合わせ、にっこり言葉を交わす金曜日。

初めて特別支援学級（わかば学級）の担任になった4月。「やれるのか？」と不安な気持ちでいっぱいな自分がありました。とにかく「やるしかない！」と心に決めてチャレンジ。大切にしようと思ったのは、子どもたちと一緒に教師も楽しさを感じ、夢中になること。

とは言っても、現実には簡単ではありません。朝から「学校嫌だ。お家に帰る！」と泣き暴れ、学校から逃げ出そうとする子。苦手なことがあると体調不良を訴え、登校を渋る子。協力学級での授業に不安を感じ、気持ちが高ぶって大泣きする子。自分の世界にどっぷり浸かって、そこから抜け出せない子。そんな子どもたちとの毎日は、なかなか大変です。つい、子どもをコントロールしようとしていらいら……。放課後はいつも、自己嫌悪と心の中の反省会でした。

そんなある日、わかば学級で豊橋絵合動物公園へ校外学習に出かけました。驚いたのは、元氣・やる気1000%の子どもたちの姿です。友達と一緒に

に笑顔いっぱい遊園地を駆け回る子。教師の手を引いて、次のアトラクションをめざして歩き出す子。上級生として下級生をお世話する子。昼食のレストランで、堂々と注文する子。どの姿も積極的で、「自分から」がいっぱいでした。



そんなわかば学級の子どもたちの姿を見て「毎日が遊園地のように楽しめる、わくわくがいっぱいだった学校にしたいな」と思いました。分かる楽しさ、できる楽しさ、挑戦する楽しさ、仲間と一緒に頑張る楽しさ、そして、成長する楽しさ……。いろんな楽しさを味わえて、わくわくしながら登校できる学校。考えただけで、私もわくわくしてきます。

「また、みんなで遠足に行きたいね。」と、普段は登校を渋る6年生が優しい笑顔でつぶやきました。それを聞いて胸がジーンと熱くなります。うれしいなあ。

今、結構大変な毎日ですが、嫌いではありません。多くの先生方や保護者、地域の力を借りながら、わくわくがいっぱいのわかば学級を、子どもたちと一緒に創っていきます。まだまだやれることはたくさんあります。さあ、今日もファイト！。